

雲仙市観光マーケティングレポート2026年7月

UNZEN City Tourism Marketing Report

2026
July

今月の風景/白雲の池

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service



INDEX

今月のサマリー

年間訪問者数推移

今月の日別訪問者推移

今月のブロック別訪問者割合

今月の訪問者属性

今月の発地×年代比率

他都市比較

今月の特集：暑さ指数をもとに「避暑地雲仙」を分析

雲仙観光局活動報告



【6月実績】122,256人、梅雨時期でも前年比108%と堅調に推移

- 6月に雲仙市を訪れたお客様は122,256人で、前年同月を上回り、前年比108%となりました。梅雨入りによる降雨や不安定な天候の影響で観光需要が落ち着きやすい時期にもかかわらず、堅調な結果です。
- 平日は前年比127%と大きく伸びた一方、土曜（98%）・日・祝（92%）はやや前年を下回りました。梅雨時期でも楽しめる温泉やドライブ需要が、休日より平日の底上げに寄与した可能性があります。
- 訪問者属性では60代以上が25%と最も高く、シニア層の来訪が目立ちました。男女比は男性63%・女性37%と、前月に続き男性の割合が高い結果です。

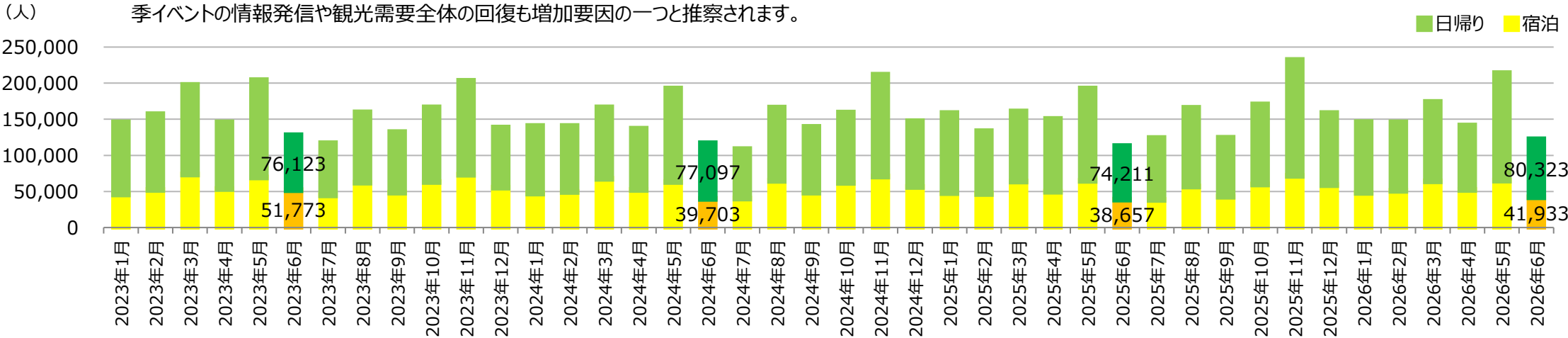
【今月の特集】暑さ指数(WBGT)で見る「避暑地雲仙」——涼しさを"安全"という価値に変換

- 環境省の暑さ指数（WBGT）実測データで雲仙・長崎・福岡を比較したところ（2026年7月1～21日、日中9-18時平均）、福岡との差は+4.1度。「厳重警戒」以上の時間割合は雲仙3.8%に対し福岡33.9%と、体感の危険度で約9倍の差があることがわかりました。
- 時間帯別に見ると、差が最大になるのは日射がピークになる13時（+5.1度）。夜20-23時以降も+3.9～4.0度の差が持続しており、「日中だけ涼しい」のではなく一日を通じて雲仙の優位性が続くことが確認できました。
- 過去5年分のデータでは、福岡との差は年々拡大傾向。
- 「平地より-5度」という従来のブランドコピーに加え、この実測データを旅行会社・教育旅行・法人担当者・行政向けの"客観的根拠"として活用し、「涼しい観光地」から「安全な観光地」への価値転換を進めていきます。

年間訪問客数推移（2023年からの推移）

・訪問者数は**122,256人**と前年より上回りました（2025年6月訪問者数：112,868／**昨年対比 108%**）。

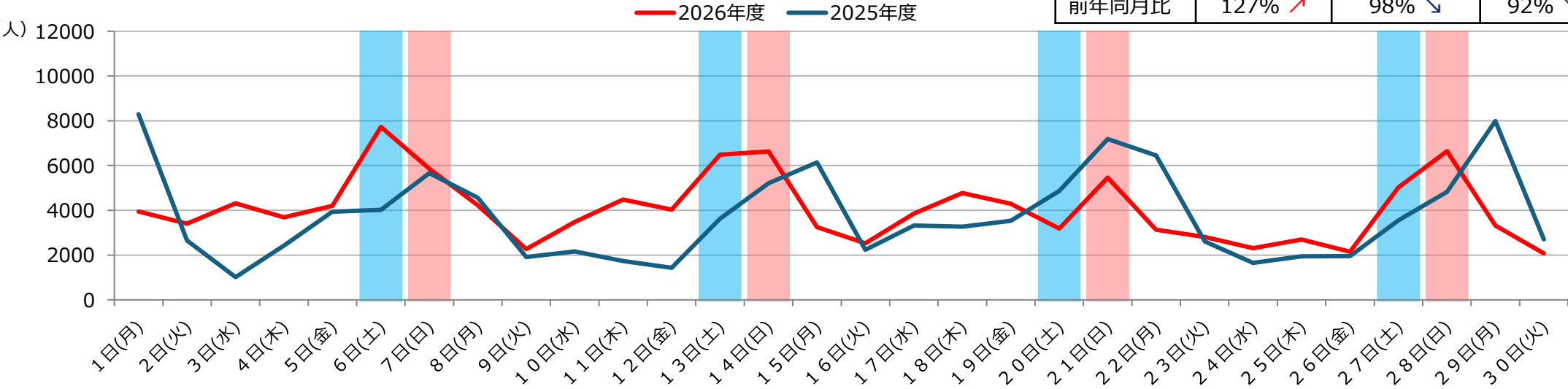
・梅雨時期における近距離旅行需要の高まりに加え、平地より涼しい気候や新緑・登山シーズンなど、雲仙ならではの季節資源が来訪を後押ししたと考えられます。また、夏季イベントの情報発信や観光需要全体の回復も増加要因の一つと推察されます。



6月の日別訪問客数推移

6月は梅雨入りによる降雨や不安定な天候の影響で観光需要が落ち着く時期であり、特に屋外観光や日帰り旅行が減少しやすいことから、前月比では平日・土曜・日曜祝日ともに来訪者数が減少したと考えられます。九州は6月上旬から梅雨入りするのが一般的で、天候の影響を受けやすい時期です。

6月	平日	土曜	日・祝
今月平均	3,420人/日	5,607人/日	6,148人/日
前月比	71% ↓	72% ↓	57% ↓
前年同月比	127% ↑	98% ↓	92% ↓



※延べ宿泊滞在数（例1名が2泊3日の場合は3名とカウント）

資料）おでかけウォッチャー、入湯税実績より推計

令和8年度総会を開催しました

6/25(木)、愛の夢未来センターにて定時社員総会を開催しました。令和7年度の事業・決算、監査報告および令和8年度の事業計画・予算案を審議し、全議案が承認されました。

令和8年度は、これまでの「基盤づくり」から「収益創出・地域への波及」へとステージを進めます。

これまでに集約したデータを活用した観光戦略をさらに強化し、月1回の「雲仙市を365日楽しむワーキング」や「雲仙よもやま交流会」、「雲仙観光DXアカデミー」などを通じて、会員の皆さまと情報や課題を共有し、具体的な取り組みにつなげていきます。また、AI検索を意識した情報発信、旅行会社との商談から成約につなげる営業活動、観光局自身がランドオペレーターとして機能し、宿泊・商店等との連携による送客・周遊・消費拡大にも注力します。

イベントや季節ごとのプロモーションは、早期の情報共有を徹底。広域連携や民間投資の呼び込みも進め、雲仙の魅力をより高い価値として届け、地域全体の収益向上と持続的な観光振興を目指します。



↑ 総会の様子

福岡・新天町商店街にてPRイベントを開催

7/5(日)、新天町商店街で雲仙市観光PRイベントを開催し、雲仙温泉・小浜温泉の魅力を発信しました。商店街での買い物と連動したガラポン抽選会や、PRブースでの特産品販売、観光冊子の配布を実施。さらに、雲仙地獄のナイトツアー「湯にも地獄の物語」の体験を行い、雲仙ならではの物語の魅力を紹介しました。瑞宝太鼓の迫力ある演奏も会場を盛り上げ、福岡から雲仙への宿泊・来訪促進につながるPRを行いました。



↑ 瑞宝太鼓の演奏



↑ HiRakuを活用したPRブース

7月の様々な活動

- ・7/8(水) 東京にて九州インバウンド商談会に参加しました。マッチした在京ランド社7社からは、福岡からのアクセスの課題や、英語対応可能なドライバーの需要を実感しました。
- ・7/19(日) 千々石ミニフェスに、PRとして出店。パンフレット等設置だけでなく、射的や温泉レモネード販売、雲仙市の好きなものを聞き取るコーナーを設置しました。
- ・7/15(水)より、ななつ星in九州受け入れ開始。朝晩の涼しい雲仙温泉街を堪能いただいています。10月までの定期運行を心をこめてお迎えします。

第2回「雲仙市を365日楽しむワーキング」を開催しました！

7/3(金)、小浜体育館の会議室で「第2回雲仙市を365日楽しむワーキング 企画立てワークショップ」を開催し、昼夜合わせて25名が参加しました。講師に、川嶋直事務所の川嶋直氏を迎え、「企画とは何か」「なぜ企画書を書くのか」「企画と評価の関係」など、企画立ての基礎的な部分や、地域のアイデアを形にするための考え方を学びました。この講義を踏まえて、10月には、参加者の実際の企画を具体的にするワークショップを行う予定です。

次回の雲仙市を365日楽しむワーキング

「日本一わくわくする季節の暦づくり」を進めています。次回は8/18(火)を予定しています。夏の橋湾を深堀します。ぜひお気軽にご参加ください。

詳細は雲仙365のオープンチャットから！→



オープンチャットとは、入退出自由、匿名OK、閲覧のみOKの、LINEを使ったグループです。ぜひご覧ください。

第1回雲仙よもやま交流会報告

6/30(火)、千々石町にある集い処えんがわにて開催しました。市内外から15名ほどが参加し、「夏にファミリー層の観光客を増やすには」というテーマで語り合いました。



観光局が数年間蓄積してきた、観光客に関するデータを共有し、際立つ特徴や気になる点について話し合いました。

その後、自由な発想で様々なアイデアが飛び交い、それらを地域内の「誰が行うのか」という分類をしたところで時間が来てしまいました。今後、数あるデータと暮らしをゆるやかにつなげて、実験的な話し合いの場を重ねて参ります。

次回予告はFacebookをチェック！

<https://www.facebook.com/unzenonsen>

「雲仙観光DXアカデミー」参加者募集中！

自社の業務や課題を見つめ直し、デジタルを手段として「余白」をつくり、雲仙ならではの新たな価値を育てる、密着型の実践プログラムです。全9回のワークショップを通じて、現状整理から実践・検証、最終発表まで伴走します。ITやデジタルの専門知識は必要ありません。島原半島地域の事業者の皆さま、これからの事業を考える羅針盤を共に見つけていきませんか？観光局会員様の参加費は30,000円です。ぜひご参加をご検討ください。

「自分の事業が対象になるのか」「もう少し詳しく話を聞きたい」という方には、担当者が直接ご説明に伺います。まずはお気軽に観光局までお問い合わせください。

対象

雲仙市・南島原・島原地域に主たる事業がある事業者

募集期間

7/16(木)~8/9(日)

詳細・お申込はこちらから→

